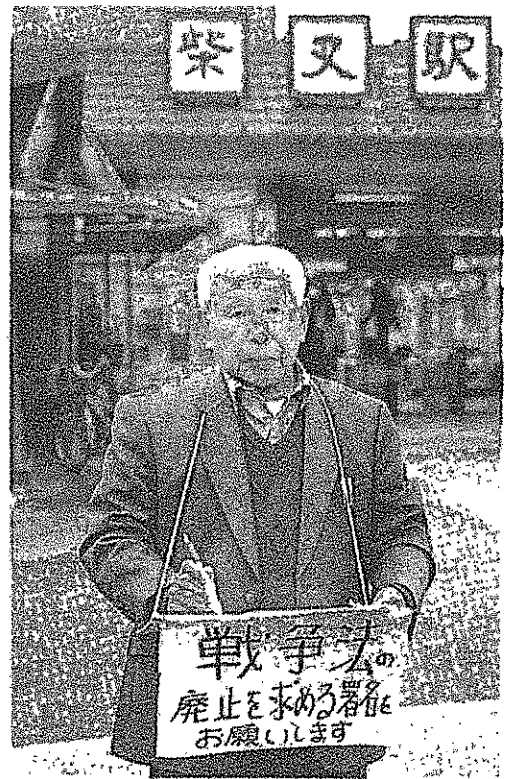


## ひと

## 戦争法廃止署名1200人集めた91歳



小杉 貞雄 さん(91)

自宅を出て5分、商店街を抜けて駅の隅に自転車を止めます。署名板とペンを携え、戦争法(安保法制)廃止の賛同を集めます。背筋はまっすぐ。観光地で有名な東京の柴又駅前。ほぼ毎日署名に立ちます。

「ただ立っているだけでいいです。何も立派なことはいません」。昨年11月から始めた署名は、1280人

1925年生まれ。小学校卒業後は住み込みで働

き、軍隊生活も経験しました。20歳の時、東京大空襲で家が炎に包まれます。戦後、銀座の印刷会社に就職。命懸けで戦争に反対した日本共産党の党員にひかれて入党。60年以上活動を続けてきました。

昨年末、脊柱管狭窄(きょうさく)症とヘルニアの大手術で1カ月入院。膝に痛みもあり、移動手段はもっぱら自転車です。近所は回れないからと駅前で署名を始めました。「軍隊でひどい目にあった。戦争は二度と繰り返しちゃいけない。平和が一番」

好きな言葉は「無事これ名馬」。「優秀でなくても無事に事を成すのが名馬。私の場合、『駄馬なれど無事』ですね」と笑顔に。

「始めたからには、体力の続く限りやりたい」

文・写真 玉田 文字